



学校だより

令和4年7月20日
市川市立第六中学校
校長 渋谷 敬二

【あいさつ運動について】

今年の生徒会はボランティア活動に積極的です。募金活動やあいさつ運動への参加を呼びかけ、多くの生徒が協力してくれています。今回は暑い時期ではありましたが、登校時のあいさつ運動を2週間行い、のべ194名の生徒が参加してくれました。校門等に立ち、六中生だけでなく、鬼高小の児童や大人の人たちにも元気よく「おはようございます」の声を響かせていました。鬼高小の子ども達からも元気なあいさつの声が返されて、とてもさわやかな雰囲気を感じました。これを機に、誰もが当たり前にあいさつのできるようになってくれればと思います。鬼高小の子ども達は将来の六中生でもあり、この活動が先々にも好影響が及ぶことを期待しています。



ある朝のボランティアメンバー

【施設設備を整えています】

体育館寄りのトイレ前に目隠し用に設置していた、パーテーションは風の影響で倒れてしまうことがありました。生徒総会でパーテーションは旧校舎のトイレ前に移動し、体育館寄りのトイレには目隠し用ののれんを設置することとなりました。以前はコロナ対策の面からのれんは不可でしたが、今では緩和されたこともあり、生徒の意見に基づき変更したものです。また、すべての男子トイレに芳香剤を入れ、全トイレに業務用の消臭剤を置きました。トイレのドアもすべて修理を完了しています。使用するときには、優しく開け閉めするなど大切に扱ってください。



トイレの芳香剤と消臭剤です。芳香剤が小さくなったら、清掃担当の人が補充してください。

生徒総会でも要望のあった防球ネットの修理も完了しています。先生方の工夫による修理ですが、見た目もすっきり改善されています。小さなほころびがあったらその都度直していくことが大切だと思います。これからも壊れているところに気が付いたら知らせてほしいと思います。



垂れ下がっていた鎖がすっきりと整っています。

【最後の大会に臨む】

部活動の総合体育大会が行われています。すでに終了した部もありますが、これから始まる部や、勝ち進んでいる部もあります。暑い中、体調管理、コロナ対策も大変ですが、しっかりと準備をし、全力でプレーをして、悔いの残らない大会にしてほしいと思います。最後に「精いっぱいやった」と思える夏にしましょう。

※各会場での応援は部員とその保護者（制限ありのところも）しか、認められません。一般生徒は会場には入れません。心の中での応援をお願いします。

【充実した日々を送りましょう】

明日から長い夏休みに入ります。うれしい反面、充実した毎日を送るには自分で自分を律していかなければなりません。これはなかなか難しいことかもしれません。完璧を目指すような目標は、立ててはみても思うようにはいかないことが多いでしょう。小さな目標を毎日少しずつ、修正し段々と高めていく方法も人によっては有効です。それぞれに工夫してみましよう。

※保護者の皆様、学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。結果は9月に報告いたします。